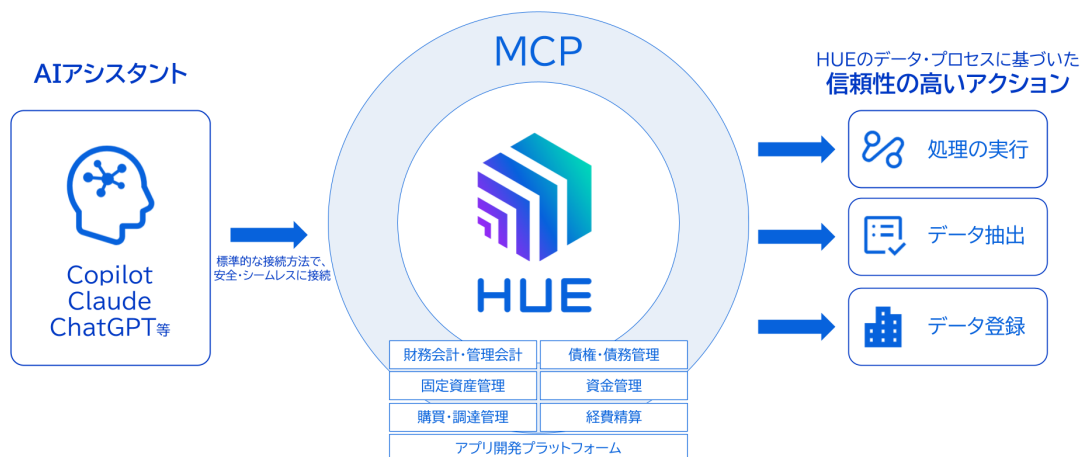


報道関係者各位

2026年9月4日
株式会社ワークスアプリケーションズ

「HUE」がAI連携規格「MCP」に対応 大手企業の業務基盤をAIエージェントへ開放

株式会社ワークスアプリケーションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO:秦修、以下 WAP)は、「HUE Composable ERP」および「HUE Business Platform」(総称して、以下 HUE)において、生成AIと外部システムを安全かつ柔軟に繋ぐ共通規格「Model Context Protocol(以下 MCP)」に対応したことをお知らせします。本対応により、AIエージェントが「HUE」上の業務データや業務プロセスを利用し、大手企業向けERPや業務プラットフォーム上の企業独自のアプリケーションを横断して実務を実行できるようになります。今後も「HUE」はAIエージェント時代の業務基盤として、日本企業におけるAI活用と業務変革を加速します。



【開発の背景】AIエージェント時代の到来とWAPの目指す姿

生成AIの進化に伴い、AIエージェントが人と協働しながら、自律的に業務を実行する時代が到来しています。一方で、その実現には、膨大な業務データや業務プロセスを安全かつ正確に活用できる高度な連携環境が不可欠です。WAPはこの課題を解決し、AIエージェントが人と共に働く「信頼できるチームメンバー」として活躍できる環境を実現するため、「HUE」にMCPを実装しました。個別のAPI呼び出しに頼ることなく、「HUE」とAIエージェントの連携性を拡張し、AIエージェントが業務データや業務プロセスを安全に利用し、業務を実行できる環境を整えます。

【取り組みの特長】「HUE」の全領域でMCPに対応

最大の特長は、大手企業向けERP「HUE」の財務会計や購買調達をはじめとする機能全域に加え、HUE Business Platform上で構築した企業独自のアプリケーションにもMCP対応した点です。これにより、データの検索・抽出やバッチ処理など、ERP上のあらゆる実務処理から、企業独自のアプリケーション上の処理まで、AIエージェントを通じて直接指示・実行できる環境を実現しています。

【今後の展望】「信頼できるチームメンバー」としての基盤を強化

今後は、「HUE」が積み重ねてきた深い業務知見を、よりAIが理解しやすくするための取り組みを進めてまいります。具体的には、各種業務プロセスに沿った、MCP経由の実行機能に加え、適切なガバナンスや権限をAIに公開できる機能を強化していきます。これにより、定型的な基幹業務から企業独自の業務領域まで、AIがシームレスに寄り添い、「HUE」を「信頼できるチームメンバー」へと進化させてまいります。

【HUEについて】

HUEは、日本の大手企業向けに開発されたAI-driven Platformです。お客様の声をもとに進化を続け、業種・業態を問わず幅広い業務要件に対応しています。HUE Composable ERP、HUE Business Platform、HUE Data Platformで構成され、AI活用を前提とした業務・データ基盤を提供します。2,500社以上での導入実績が、その信頼性と高い評価を支えています。

HUE製品ページは[こちら](#)

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-3512-1400 FAX:03-3512-1401 Email:pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当